

インド・ケララ州からスレッシュ・クマールさんをお呼びしました。

20 年ほど前からケララ州で専門家とボランティアの協同による地域緩和ケアの仕組みを作り上げてきた方です。

緩和ケアセンターにおいて、痛みをはじめとする症状緩和を行い、同時に生活や家族を支える地域ボランティアの活動を育ててきました。またセンターからの訪問診療、訪問看護も行ってきました。日本やアメリカの 100 分の 1 の国民所得の地域で、人々の力でどのような「コミュニティケア」が行われているのか、そこから学ぶものは何か？

この地球上で緩和ケアを必要とする人たちの大多数は、途上国で暮らしています。わが国でのホスピスのあり方に目を向けると同時に、世界のホスピス運動から学びたいと思います。